
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第187号

2014/03/12配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成25年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 3/06～3/12までの更新情報 -----

●経済産業省・環境省・製品評価技術基盤機構(NITE)

【2014/03/06】

- ・「平成24年度PRTR 届出データ等の集計結果」を公表しました。

- ・経済産業省

- http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/prtr/6.html

- ・環境省

- <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17856>

- ・NITE(集計結果)

- http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/total_indexh24.html

- ・NITE(個別事業所データ)

- <http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/prtr-kaizi.html>

標記資料が掲載された。

●経済産業省

【2014/03/07】

- ・一般化学物質等の製造・輸入数量(24年度実績)について(公表)

→

http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/information/H24jisseki-matome.html

標記資料が掲載された。

【2014/03/07】

・平成26年度化学物質安全対策(スクリーニング・リスク評価における調査)の入札情報を掲載しました。

→ http://www.meti.go.jp/information_2/data/20140307002.html

標記資料が掲載された。

【2014/03/10】

・その他化学物質関連諸施策のページをリニューアルしました。

→ http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/other/index.html

標記ページが更新された。主な内容は、

- ・化学物質によるリスクを評価する手法等の開発
- ・有害大気汚染物質自主管理計画のフォローアップ
- ・内分泌かく乱物質問題
- ・ナノマテリアルの安全対策

など。

●厚生労働省・環境省

【2014/03/10】

・第13回 東日本大震災アスベスト対策合同会議(東日本大震災の復旧工事に係るアスベスト対策検証のための専門家会議)

・厚生労働省

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000038946.html>

・環境省

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17860>

3月25日に標記会合が開催される。議題は、

- (1)被災地におけるアスベスト大気濃度調査結果及び計画について
 - (2)がれき処理作業等におけるアスベストの気中モニタリング等について
- など。
-

●厚生労働省

【2014/03/10】

・「食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の一部改正

(食品中の農薬の残留基準設定)」に関する意見の募集について

- ・シアゾファミド
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130305&Mode=0>
- ・モリネート
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130317&Mode=0>
- ・ジカンバ
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130306&Mode=0>
- ・ルフェヌロン
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130318&Mode=0>
- ・1,3-ジクロロプロペン
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130307&Mode=0>
- ・ブプロフェジン
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130312&Mode=0>
- ・シプロジニル
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130308&Mode=0>
- ・マンジプロパミド
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130315&Mode=0>
- ・モネンシン
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130316&Mode=0>
- ・ボスカリド
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130314&Mode=0>
- ・ペンチオピラド
→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130313&Mode=0>

3月10日から4月8日までの間、標記の意見募集が行われている。

【2014/03/10】

- ・食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について(平成26年3月10日食安発0310第1号)
- <http://www.ourei.mhlw.go.jp/ourei/doc/tsuchi/T140310I0010.pdf>

標記通知が掲載された。

【2014/03/10】

- ・食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件(平成26年3月10日厚生労働省告示第66号)
- <http://www.ourei.mhlw.go.jp/ourei/doc/ourei/H140310I0010.pdf>

- ・新旧対照表

→ <http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/hourei/H140310I0011.pdf>

標記法令が掲載された。

【2014/03/10】

・「食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の一部改正(食品中の農薬の残留基準設定)」に関する意見の募集について寄せられた御意見について

・アラクロール

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130135&Mode=2>

・ピラクロストロビン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130143&Mode=2>

・チフルザミド

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130141&Mode=2>

・フルベンジアミド

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130145&Mode=2>

・メトキシフェノジド

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130146&Mode=2>

・シエノピラフェン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130139&Mode=2>

・ビフェナゼート

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130142&Mode=2>

・ピリダリル

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130144&Mode=2>

平成25年10月4日から平成25年11月2日にかけて行われた、標記意見募集の結果が掲載された。

●環境省

【2014/03/04】

・中央環境審議会水環境部会生活環境項目環境基準専門委員会(第2回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17848>

3月14日に標記会合が開催される。議題は、

(1)関係者へのヒアリングについて

(2)下層溶存酸素及び透明度の環境基準の検討について

など。

【2014/03/04】

- ・中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会(第39回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17849>

3月18日に標記会合が開催される。議題は、

(1)水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として環境大臣の定める基準の設定について

(2)水質汚濁に係る農薬登録保留基準として環境大臣の定める基準の設定について

など。

【2014/03/04】

- ・「第25回 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会」の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17841>

3月20日に標記会合が開催される。議題は、平成25年度VOC排出インベントリ検討会報告書(案)の検討・承認、など。

【2014/03/04】

- ・中央環境審議会水環境部会水生生物保全環境基準類型指定専門委員会(第29回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17840>

3月14日に標記会合が開催される。議題は、

(1)「水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定について(第7次報告)(案)」に対する意見の募集(パブリックコメント)の実施結果について

(2)「水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定について(第7次報告)(案)」について

など。

【2014/03/06】

- ・土壌の汚染に係る環境基準の見直しについて(第1次答申) [1.1-ジクロロエチレン] について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17855>

標記資料が掲載された。

【2014/03/10】

- ・「平成25年度第4回アスベスト大気濃度調査検討会」の開催について
(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17859>

3月19日に標記会合が開催される。議題は、平成25年度アスベスト大気濃度調査結果について、など。

●農林水産省

【2014/03/05】

- ・第14回 農業資材審議会農薬分科会配付資料一覧

→ <http://www.maff.go.jp/j/council/sizai/nouyaku/14/index.html>

3月4日に行われた標記会合の資料が掲載された。議題は、

(1) 諮問

- ・特定農薬(特定防除資材)の指定について(諮問)

(2) 報告

- ・特定農薬(特定防除資材)に関する情報提供について
 - ・特定農薬(特定防除資材)の検討対象としている資材の取扱いについて
- など。
-

【2014/03/07】

- ・「農薬登録制度に関する懇談会」の開催及び一般傍聴について

→ <http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/140307.html>

3月17日に標記会合が開催される。議題は、急性参照用量(ARFD)の設定及び短期摂取量推定の導入について、など。

●内閣府食品安全委員会

【2014/03/04】

- ・食品安全委員会 農薬専門調査会幹事会(第103回)の開催について

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/nouyaku_annai_kanjikai_103.html

3月12日に標記会合が開催される。議題は、

- (1) 農薬(チアベンダゾール)の食品健康影響評価について
 - (2) 農薬(ジフルフェニカン、ピラゾスルフロンエチル、フルミオキサジン)の食品健康影響評価について
 - (3) 農薬(エチプロール)の食品健康影響評価について
 - (4) 農薬(カスガマイシン、ピリミカーブ)の食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての意見・情報の募集結果について
- など。

【2014/03/06】

- ・フタル酸ジブチル(DBP)、フタル酸ベンジルブチル(BBP)に係る食品健康影響評価について

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140306ky1>

3月6日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。

【2014/03/06】

- ・食品安全委員会添加物専門調査会(第128回)の開催について

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/tenkabutu_annai128.html

3月13日に標記会合が開催される。議題は、

- (1) 2,3-ジエチルピラジンに係る食品健康影響評価について
 - (2) 過酢酸製剤及び同製剤に含有される物質(過酢酸、1-ヒドロキシエチリデン-1,1-ジホスホン酸、オクタン酸、酢酸、過酸化水素)に係る食品健康影響評価について
- など。

【2014/03/07】

- ・食品安全関係情報を更新しました(最新2週間(平成26年2月7日～平成26年2月21日)の海外情報はこちらから)

→

http://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?keyword=%EF%BC%AC%EF%BC%A4%EF%BC%95%EF%BC%90&query=&logic=and&calendar=japanese&year=&from=struct&from_year=2014&from_month=02&from_day=07&to=struct&to_year=2014&to_month=02&to_day=21&areaId=00&countryId=000&informationSourceId=0000&max=100&sort_order=date.desc

最新2週間の海外情報(2月7日～2月21日)が更新された。食品安全総合情報システムで検索できる。

【2014/03/10】

・第506回食品安全委員会で報告した食品安全関係情報(2月7日～2月21日収集分)について

→ http://www.fsc.go.jp/iinkai/hazard/kai20140310_506sfc.pdf

標記資料が掲載された。

●国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)

【2014/03/10】

・食品安全情報(化学物質) No. 05 (2014. 03. 05)

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2014/foodinfo201405c.pdf>

標記資料が掲載された。食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報が紹介されている。

●農林水産消費安全技術センター (FAMIC)

【2014/03/06】

・[メールマガジン]バックナンバーに第524号を掲載しました。

→ http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No524.htm

標記情報が更新された。

●農業環境技術研究所 (NIAES)

【2014/03/04】

・農環研ニュース No. 101 を掲載しました。

→ <http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/publish/niaesnews/101/101.html>

標記資料が掲載された。内容は、野菜におけるPOPs農薬残留リスク低減技術の開発(第13回有機化学物質研究会)、など。

●中小企業基盤整備機構

【2014/03/07】

・[J-Net21]REACH コラム:韓国化評法(K-REACH)施行令・施行規則案の公表

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/column/140307.html>

標記コラムが掲載された。

【2014/03/07】

・ [J-Net21] REACH Q. 423: REACH規則におけるクロムめっき処理した製品をEUに輸出する場合の注意点(認可対象の六価クロム化合物)

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/qa/423.html>

標記Q&Aが掲載された。

【2014/03/07】

・ [J-Net21] RoHS Q. 417: 電子電子機器用の小型部品がRoHS指令(II)におけるCEマーク貼付の対象製品かどうかについて

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/qa/417.html>

標記Q&Aが掲載された。

●経済協力開発機構(OECD)

【2014/03/07】

・ Ecotoxicology and Environmental Fate of Manufactured Nanomaterials: Test Guidelines Expert Meeting Report

→

[http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=ENV/JM/MONO\(2014\)1&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=ENV/JM/MONO(2014)1&doclanguage=en)

OECDは、OECDテストガイドラインの適用可能性を向上するため、2013年1月29日から31日にかけて開催された工業用ナノマテリアルの生態毒性及び環境中運命に関するOECD専門家会合の結果報告書を公表した。

●欧州化学品庁(ECHA)

【2014/03/04】

・ The new release of the C&L Inventory is out

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/the-new-release-of-the-c-l-inventory-is-out

ECHAは、C&Lインベントリを更新したことを発表した。届出られた物質についての調和化された分類・表示に関する情報が視覚的にもわかりやすくなる等の新機能が追加された。

【2014/03/05】

- Harmonised classification and labelling current consultations
- <http://echa.europa.eu/harmonised-classification-and-labelling-consultation>

ECHAは、CLP規則に基づき、調和化された分類・表示提案を発表し、パブリックコンサルテーションを開始した。対象物質は以下の3物質で、コメントの提出期限は4月22日。

- Dicyclohexyl phthalate (CAS:84-61-7)
- E-glass fibres of representative composition; [Calcium-aluminium-silicate fibres with random orientation with the following representative composition (% given by weight): SiO₂ 50.0-56.0%, Al₂O₃ 13.0-16.0%, B₂O₃ 5.8-10.0%, Na₂O <0.6%, K₂O <0.4%, CaO 15.0-24.0%, MgO <5.5%, Fe₂O₃ <0.5%, F₂ <1.0% with note R. Process: typically produced by flame attenuation and rotary process. (Additional individual elements may be present at low levels; the process list does not preclude innovation).] (CAS:なし)
- glass fibres of representative composition; [Calcium-aluminium-silicate fibres with random orientation with the following composition (% given by weight): SiO₂ 55.0-60.0%, Al₂O₃ 4.0-7.0%, B₂O₃ 8.0-11.0%, ZrO₂ 0.0-4.0%, Na₂O 9.5-13.5%, K₂O 0.0-4.0%, CaO 1.0-5.0%, MgO 0.0-2.0%, Fe₂O₃ <0.2%, ZnO 2.0-5.0%, BaO 3.0-6.0%, F₂ <1.0% with note R. Process: typically produced by flame attenuation and rotary process. (Additional individual elements may be present at low levels; the process list does not preclude innovation).] (CAS:なし)

【2014/03/07】

- Improve your dossier - new web section and Dossier Quality Assistant now available
-

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/improve-your-dossier-new-web-section-and-dossier-quality-assistant-now-available

ECHAは、ドシエ品質支援ツール(DQA)の更新版が利用可能になったことを公表した。これは登録者がドシエの提出前に内容をセルフチェックする支援ツールで、Validation Assistant plug-inとしてIUCLID 5(5.4.0)

に含まれている。また、ドシエの品質を向上させるための具体的な情報を簡単に検索できる、新しいWebページが開設された。

●米国環境保護庁 (US EPA)

【2014/03/03】

・EPA Sets Cleaner Fuel and Car Standards, Slashing Air Pollution and Providing Health Benefits to Thousands

→

<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/d0cf6618525a9efb85257359003fb69d/ce8984957ffefa6a85257c90004fe802!OpenDocument>

米国EPAは、新たな自動車からの排出規制及び燃料規制基準を決定した。スモッグの原因となる揮発性有機化合物および窒素酸化物の排出を80%削減、ベンゼン等の有害大気汚染物質排出量を最大30%削減すること等が規定されている。

【2014/03/06】

・EPA announces the availability of preliminary materials for diethyl phthalate (DEP) and hexabromocyclododecane (HBCD) for the April IRIS Bimonthly Public Meeting

→ http://www.epa.gov/IRIS/publicmeeting/iris_bimonthly-apr2014/index.htm

米国EPAは、4月23日から24日にかけて開催されるIRIS隔月公開ミーティングで議題として取り上げられるDiethyl Phthalate (DEP)及びHexabromocyclododecane (HBCD)の予備資料を公開した。

●環境展望台：国立環境研究所

【2014/03/05】

・欧州環境局、栄養塩や重金属の水質汚染減少は経済成長からの「絶対的デカップリング」と示唆

→ <http://tenbou.nies.go.jp/news/fnews/detail.php?i=12971>

欧州環境局 (EEA) は2月24日、水質に関する新たな指標により、欧州では栄養塩や貴金属による水質汚染が減少しており、経済成長からの「絶対的デカップリング」が進んでいると発表した。

【2014/03/10】

・ 欧州連合、有害化学物質の輸出入に対する改正PIC規則を施行

→ <http://tenbou.nies.go.jp/news/fnews/detail.php?i=12996>

欧州連合は2月28日、2014年3月1日より、改正PIC(事前のかつ情報に基づく同意の手續)規則の施行により、EUと第三国間の有害化学物質の輸出入に対する新たな規制を開始することを発表した。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

● 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

● 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

● 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして配信停止手續をしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

● ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

・ 【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする場合に限り、自由に行って頂いて構いません。

・ 組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

・ 発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター

・ 記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第1部 環境リスクチーム